

参加お申込み方法

以下のいずれかの方法で
10月20日までにお申込み下さい。

■FAX 0297-57-1539

(記入後、このままFAXして下さい)

■e-mail office@greenglobe.jp

■http://www.greenglobe.jp

★スマートフォンからのお申込みは

コチラからどうぞ⇒



項目	記入欄
氏名(団体 は代表者)	
団体名	※参加者リストを別途作成、ご提出ください。
性別	
年齢	
住所	〒
緊急連絡先	
専用バス	利用します ・ 利用しません

※当日不参加の場合、必ずご連絡ください。

(石村TEL:090-7840-0496)

※頂いた個人情報はこの活動遂行の範囲に限定します。

服装・持ち物

服装:長そで長ズボン、スニーカー・長靴等。
持ち物:帽子、タオル、雨具(雨天時)、飲み物。

※各自、カゴ入りの苗木を運搬するため、

所持品は、リュックサック等に入れ、

両手が自由になるよう工夫して下さい。

※主催者側用意:軍手、移植ゴテ、軽昼食と飲料。

開催概要

日時:令和元年10月27日(日)9:00~

集合場所:筑波山神社参集殿前

植樹場所:筑波山神社林内

雨天決行・荒天中止(事前連絡あり)

参加費:無料

お楽しみ会

時間:13:00~15:00(予定)

場所:筑波山神社境内隋神門周辺

ガムの油売り口上、ハワイアンダンス 等

アクセス



＜お車の場合＞



青木屋(茨城県つくば市筑波753-1)を目指してください。駐車場は青木屋の向かい側の神社専用駐車場もしくは周辺駐車場をご利用ください。



＜電車&専用バスをご利用の場合＞

つくばエクスプレス「つくば駅」下車後、A4出口地上部に「改元記念植樹祭」の専用バスが待機していますのでご利用ください。8:00出発です。

お問い合わせ

NPO法人地球の緑を育てる会

〒300-2358

つくばみらい市陽光台1-1-2 B-829

TEL&FAX 0297-57-1539

E-MAIL: office@greenglobe.jp

URL: http://www.greenglobe.jp

携帯 090-7840-0496(担当石村)

改元記念植樹祭

- 第15回筑波山水源の森づくり -

日時:令和元年10月27日(日)9:00~

場所:筑波山神社林内



主催:NPO法人地球の緑を育てる会 (AFG)

共催:筑波山神社

後援:茨城県、茨城森林管理署、つくば市、
筑波山地域ジオパーク推進協議会、
つくば観光コンベンション協会

助成:イオン環境財団

協賛:和興フィルタテクノロジー株式会社

協力:筑波山宮前振興会、アステラス製薬株式会社、
株式会社常陽銀行、株式会社ユーキャン、
土浦ライオンズクラブ、いのちの森づくり2020、
明るい社会づくり筑波協議会

式次第

- 8:30 受付開始
 9:00 開会式
 主催者挨拶
 筑波山神社挨拶
 来賓挨拶
 9:20 基調講演
 畠山重篤氏・NPO法人
 「森は海の恋人」理事長
 10:20 植樹地へ移動
 10:40 植樹説明
 11:00 植樹開始
 12:00 植樹終了
 12:20 閉会式
 奉納・席上揮毫
 (書道家・山本玲葵氏)
 (下山後、筑波山神社境内にて)
 12:30 昼食
 13:00 お楽しみ会
 (筑波山神社隋神門境内にて)
 15:00 終了

<植樹詳細>

樹種: シラカシ、ウラジロガシ、アカガシ、スダジイ、シロダモ、ユズリハ、ヤブツバキ、タブノキ、ヤマザクラ、コナラ、イヌシデ (11種)

本数: 1000本
 参加人数: 300人(予定)



畠山重篤氏 紹介

気仙沼市の養殖漁業家、エッセイスト。
 国連フォレストヒーロー、京都大学フィールド
 科学教育センター社会連携教授、特定非常
 利活動法人『森は海の恋人』代表。

漁業において上流山間部の森林が果たす役割の大きさに着目し、気仙沼湾に注ぐ大川上流の室根山への植樹運動を続ける。その活動は「森は海の恋人運動」と名付けられ、小中学校の教科書、高等学校英語教科書にも掲載されている。

著書:『森は海の恋人』『漁師が山に木を植える理由』『リアスの海辺から』『牡蠣礼讃』『鉄が地球温暖化を防ぐ』『鉄は魔法使い』『牡蠣とトランク』等



植樹に至るまで



そして、植樹!

筑波山水源の森づくり植樹祭記録

主催者	回数	面積 (㎡)	本数	参加人数
和興フィルタテクノロジー株式会社	7	3,400	5,980	346
アステラス製薬株式会社	7	1,700	4,100	550
株式会社常陽銀行	7	1,300	3,300	496
株式会社ユーキャン	3	180	500	33
土浦ライオンズクラブ	3	340	1,100	109
NPO法人 地球の緑を育てる会				
(筑波山水源の森づくり)	14	12,150	27,107	2,714
(森育ワークショップ)	1	400	800	110
合計	42	19,470	42,887	4,325

※2019年8月末 現在

「全国緑化行事発祥の地」について

筑波山の北面の桜川市真壁羽鳥地区の鬼ヶ作国有林は今から80数年前、全国の山林の荒廃を憂えて林野庁関係者を中心に第一回の植樹活動が行われた地区で、現在の全国植樹祭の原点です。

当時植えられた針葉樹が、伐採適期を迎えながら、荒廃しているのも全国の現在の山林が抱える一面でもあります。先人の国土保全への努力と希望を新たな方法で発信していきましょう。



第70回全国植樹祭 天皇陛下のお言葉

第70回全国植樹祭に当たり、ここ「愛知県森林公園」において、全国から参加された皆さんとご一緒に植樹を行うことを喜ばしく思います。今、こうして、初めて全国植樹祭に臨み、国土緑化の中心的行事として、70年にわたり開催されてきた歴史の重みと、国土緑化に長い年月をかけてこられた先人の努力に思いをはせ、感慨を覚えます。

わが国は、国土面積の3分の2を森林が占める世界有数の森林国です。健全な森林は、木材をはじめとする林産物の供給のみならず、清らかな水、豊かな実りをもたらす大地や海を育み、さらには地球温暖化防止や生物多様性保全にも大切な役割を果たすなど、私たちにさまざまな恩恵をもたらしてくれる国民共通の財産といえます。こうした、森林のかけがえのなさと思うとき、その保全はもちろんのこと、森林を伐採して利用することに伴い、再び苗木を植えて育てることを通じ、健全な森を次世代のためににつくっていくことは、私たちに課せられた大切な使命であると考えます。ここ愛知県においては、林業の活性化や都市部における木材の利用、さらには、山から街まで緑豊かな愛知の実現に向けた、森と緑づくりを進める取り組みがなされていると聞き、うれしく思います。

そして、本日は表彰を受けられる方々をはじめ、日頃(ひごろ)から各地域において森林や緑づくりに尽力されている全国の皆さんに敬意を表し、そうした活動が、多くの人々によって支えられ、さらに発展していくことを期待します。

このたびの大会テーマである「木に託す もり・まち・人の あす・未来」にふさわしく、木材の利用や健全な森林づくりの輪が、ここ愛知の地から全国へ、そして未来に向けて大きく広がっていくことを願い、私のあいさつといたします。(令和元年6月2日 日本経済新聞より)